

平成30年度 朝霞市立朝霞第二中学校学力向上グランドデザイン

本校生徒の学力・学習状況の把握と分析



- (1) 埼玉県学力・学習状況調査結果の活用
- (2) 全国学力・学習状況調査結果の活用
- (3) 日常の授業における評価の活用
- ・本校生徒の学力や学習状況の現状を的確に把握する。
- ・伸びが見られた点について分析を行い、伸びた要因を明らかにし、次の指導に活用する。
- ・生徒一人一人の伸びに注目し、学習意欲を喚起する。
- ・PDCAサイクルを機能させ、授業改善に取り組む。

【本年度の重点目標】

◎学習指導の充実

- ・主体的、対話的で深い学びにつながる授業の工夫・改善（ICTの活用、言語活動の充実、「見通し」と「振り返り」の充実）
- ・生徒の学習意欲向上

各教科の課題

～全国・埼玉県学力・学習状況調査を踏まえて～

【国語】

語彙力の向上

思考力の向上を図る指導の工夫

【数学】

言語活動の充実

意欲的に取り組む姿勢の育成

【社会】

思考力・発言力の向上

様々な事象を多面的・多角的に思考

【理科】

考察力・技能の向上

考察時における科学的思考力と表現力

【英語】

コミュニケーション能力の定着

事前の指導の工夫・改善

各教科の課題

～日常の授業の様子を踏まえて～

【体育】

苦手競技への取り組み

【美術】

発想力・制作力の向上

【音楽】

課題解決を図る姿勢

【技術】

既習事項の発展

【家庭科】

発展的に考える力の向上

各教科の取り組み

～問題解決（改善）に向けて～

- 【国語】・各教室に国語辞典を設置し、語彙力の向上を図る。
・授業で単元と教材の見通しと振り返りを行う。
・様々な場面で短作文(感想文)に定期的に取り組み、構成→清書の流れを徹底させる。
- 【数学】・教師の発問を工夫し、生徒に疑問を抱かせるとともに、見通しを持たせ、生徒達で解決できるような授業を行う。
・授業中に1人での課題解決の時間を多くとる。
- 【社会】・生徒の身近な話題に近づくこと(地理的分野)や生徒の常識を揺さぶる課題の設定や地域の歴史との関連付け(歴史的分野)、そして現代を取り巻く社会的な話題(公民的分野)を扱うことで生徒の知的な好奇心に働きかける。
- 【理科】・各授業で、1つ以上の活動(実験/観察/話し合い)を入れ、生徒の言語活動を充実させる。
・必要に応じてパフォーマンステストを実施し、ICTを活用し実験技能の定着をさせていく。
・単元ごとに小テストを実施し知識の定着を図る。
- 【英語】・生徒の英語カードにコメント欄を設け、授業についての感想を書かせ、授業内容についての工夫・改善の資料とする。
・パフォーマンステストを行い、話す力や読む力における評価の場面を設ける。
- 【体育】・グループ活動の推進
・学習カードの利用
- 【美術】・習得した基礎的・基本的な知識及び技能を活用する力の育成をする。
・小学校における学習内容をふまえて生徒の実態を把握し、連携を図る。
- 【音楽】・継続的に基本発声を行う。
・わかりやすい課題を出し、パート練習で課題をクリアする楽しさを味わえる指導をする。
- 【技術】・創造・工夫する力や緻密さへのこだわり、他者とかかわる力及び知的財産を尊重する態度、勤労観・職業観などの育成を目指した学習活動を一層充実する。
- 【家庭科】・学習環境の整備と安全・衛生の管理として、関係施設・設備における定期的な点検及び学習前点検の実施による安全管理の徹底に努める。

授業・補習の充実

- ・教師がいつでも出入りでき、互いの授業を見合える環境作り。
- ・小テストを計画的に実施する。
- ・定期試験前に学習会を実施する。
- ・夏季休業中、各学年で学習会を設ける。
- ・ICT機器を有効活用し、視覚に訴える授業作り。

授業規律の徹底

【授業の約束】

- | | |
|----------------|------------------|
| 1 休み時間に授業準備 | 5 学習の「見通し」「振り返り」 |
| 2 チャイム着席 | 6 積極的な授業参加・挙手発言 |
| 3 正しい服装と美しい教室 | 7 忘れ物ゼロ |
| 4 大きな声であいさつ・返事 | |

読書活動の充実

- ・毎日10分間の朝読書を行う。
- ・学期に1回、1～2週間単位で読書週間を設け、毎朝15分の朝読書を行う。
- ・漢字練習の時間を増やす。

言語活動の充実

- ・見通しと振り返りの実践
- ・基礎的・基本的な知識・技能の活用を図る学習活動や言語活動について、各教科等の特質に応じた充実に努める。
- ・生徒が学習の見通しを立てたり学習したことを振り返ったりする活動を計画的に取り入れる。

家庭学習の充実

- ・日々の復習の習慣化
- ・保護者との連携(家庭学習に取り組む環境作り)(望ましい生活習慣の育成)
- ・やりとり帳を活用した家庭学習との連携